

2023～ 国際福祉研究	単位数	履修方法	配当学年
	2単位	SR	1・2年
	担当教員	萩野 寛雄	

■授業のテーマ

修士論文作成に益するべく、福祉国家、福祉国家レジューム、その類型、特に社会民主主義型福祉国家への理解を深める

■授業の目的

- ・ 国際福祉に関する知識を学ぶことで、社会福祉学全般の基礎的素養に関する専門知識習得に寄与させる
- ・ 国際福祉に関する知見を深めることで、多次元に渡る広い視点を持って対応できるようになる
- ・ 修士論文作成に向けて、福祉国家や福祉国家レジューム、その類型、特に社会民主主義型福祉国家への理解を深める

■授業の到達目標

- ①福祉国家、福祉国家レジュームの諸類型について理解し、それを他者に説明できるようになる
- ②北欧型福祉国家、社会民主主義型社会福祉レジュームについて他者に説明できるようになる
- ③フィンランド福祉国家の特徴について、他者に説明できるようになる
- ④これらの到達点を修士論文に反映できるようになる

■授業の概要

本講義では、多次元に渡る広い視点から日本の福祉を考察できるようになるため、まず福祉国家や行政国家につき、その定義や形成過程への理解を深める。その上で先進国の福祉国家、福祉国家レジュームの諸類型を理解し、特に日本の福祉とは異なるレジュームで福祉が供給される「北欧型福祉国家」について学ぶ。

エスピン・アンデルセンの著作を基に、福祉国家と福祉国家レジュームの違い、諸類型の特徴や条件、特に北欧型福祉国家について学んでいく。後半はその理解の基に、フィンランド福祉国家の特徴を学修する。

■レポート課題

課題 1 (事前課題)	福祉国家レジュームを定義し、エスピン・アンデルセンによるその類型化を論じなさい。	【提出時期】 <input type="checkbox"/> 対面授業 1 週間前まで <input type="checkbox"/> 対面授業前日まで <input checked="" type="checkbox"/> その他 (対面授業当日持参)
課題 2 (事後課題)	様々な福祉国家レジュームを理解して日本の制度と比較し、日本の福祉国家レジュームについてのあなたの考えを述べなさい。	【提出時期】 <input type="checkbox"/> 対面授業後 1 ヶ月以内 <input checked="" type="checkbox"/> 受講年度の最終レポート受付日まで <input type="checkbox"/> その他 ()

■アドバイス



- ・ オンデマンド動画教材だけでなく、それを理解するのに必要な資料を自ら集めて自主学修すること
- ・ 基本的な日本語作文法を遵守（主語や述語の対応、句読点や意味段落での改行、一文の長さ等）
- ・ 箇条書きではなく、論理的なレポート構成に努めること

課題2
アドバイス

課題1と同じ、それに加えて；

- ・福祉国家、福祉国家レジュームの三類型、北欧型福祉国家、フィンランドをよく理解すること
- ・3種類の福祉国家レジュームを理解した上で、日本の福祉国家レジュームを外から相対的に眺めること。また、フィンランドや北欧型福祉国家の条件についてもよく理解すること

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	行政国家とは	大きな政府、小さな政府 行政国家化の進展	国家の定義や類型から始まり、夜警国家を経て大きな政府化が進んできた歴史を整理する
2	福祉国家とは① 福祉国家の定義	福祉国家とは、社会福祉とは、 社会保障とは	行政国家化によって可能となった「福祉国家」の機能とその定義を理解していく
3	福祉国家とは② 福祉国家を測るスケール	ウィレンスキー、収斂理論	福祉国家を測る方法を理解し、ウィレンスキーの収斂理論や開発独裁の問題を明らかにする
4	エスピン・アンデルセンの福祉国家レジューム論①福祉国家レジューム	エスピン・アンデルセン 福祉資本主義の三つの世界、 福祉国家レジューム	福祉国家と福祉国家レジュームの違いを、その担い手に着目しながら整理する
5	エスピン・アンデルセンの福祉国家レジューム論②脱商品化	エスピン・アンデルセン 福祉資本主義の三つの世界、 脱商品化指標	福祉国家レジューム論の概要を整理したうえで、その指標としての「脱商品化」を理解する
6	エスピン・アンデルセンの福祉国家レジューム論③階層化	階層化指標 エスピン・アンデルセン、福祉資本主義の三つの世界	脱商品化と共に福祉レジュームを類型化する指標である「階層化」を理解する
7	自由主義型福祉レジューム①脱商品化	アングロサクソン型福祉国家レジューム、自由主義、脱商品化	自由主義の福祉国家レジュームにおける脱商品化について学ぶ
8	自由主義型福祉レジューム②階層化	アングロサクソン型福祉国家レジューム、自由主義、階層化	脱商品化が低く、階層化が高いアングロサクソン型の福祉国家レジュームについて学ぶ
9	保守主義型福祉レジューム①脱商品化	大陸型福祉国家レジューム、保守主義、脱商品化	保守主義の福祉国家レジュームにおける脱商品化について学ぶ
10	保守主義型福祉レジューム②階層化	大陸型福祉国家レジューム、保守主義、階層化	脱商品化が高く、階層化も高い欧州大陸型の福祉国家レジュームについて学ぶ
11	社会民主主義型福祉レジューム①脱商品化	北欧型福祉国家、社会民主主義、脱商品化	社会民主主義の福祉国家レジュームにおける脱商品化について学ぶ
12	社会民主主義型福祉レジューム②階層化	北欧型福祉国家、社会民主主義、階層化	脱商品化が高く、階層化が低い北欧型の福祉レジュームについて学ぶ
13	フィンランド福祉国家の特徴	市場化、予防、包括的地方分権	スウェーデン等の北欧型福祉国家と比較して見えるフィンランドの特殊性
14	フィンランド福祉国家の形成過程	VALTAVA改革、1993年改革(包括補助金制度)	フィンランド型福祉国家を形作る契機となった二つの改革を理解する
15	現在に至るフィンランド福祉国家の変遷	健康福祉制度改革と地方制度改革	カイヌー実験、PARAS、ALUK、SOTE、ベーシックインカムなどの各種改革を整理する

■スクーリング事前課題 (学修時間目安：10時間以上)

レポート課題「福祉国家レジュームを定義し、エスピン・アンデルセンによるその類型化を論じなさい。」(2,000字以上)

- ・オンデマンド教材、『福祉資本主義の三つの世界』該当箇所をノートテイクしながらしっかり学修のこと
- ・上記二つを十分に理解できない場合は、自分でしっかり調べ理解してから課題に取り組むこと
- ・対面スクーリング当日持参「オンデマンド課題配布資料を各自印刷したもの」「オンデマンド課題を視聴学修した際のノート」「『福祉資本主義の三つの世界』『フィンランド福祉国家の形成』の該当箇所のコピー(必須)

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	福祉国家について	オンデマンド
2	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～脱商品化指標～	オンデマンド
3	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～階層化指標～	オンデマンド
4	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～福祉国家の三類型～	オンデマンド
5	エスピン・アンデルセンの福祉レジューム論 ～福祉国家レジューム～	オンデマンド
6	フィンランド福祉国家について	オンデマンド
7	自由主義型社会福祉レジューム	対面
8	保守主義型社会福祉レジューム	対面
9	社会民主主義型社会福祉レジューム	対面
10	現在に至るフィンランド福祉国家の変遷	対面

■スクーリング事後課題（学修時間目安：10時間）

レポート課題「様々な福祉国家レジュームを理解して日本の制度と比較し、日本の福祉国家レジュームについてのあなたの考えを述べなさい。」(4,000字以上)

- ・過去のオンデマンド教材、スクーリング内容をノート等を用いて自分で一度再構築してみる
- ・外国の事例を知ること、日本の社会福祉を相対化してみる
- ・北欧型福祉国家の条件、その特殊性についてしっかり学修したうえで課題にのぞむ

■評価の方法・基準

- ・スクーリング50%、課題レポート50%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- *1) 山田真知子『フィンランド福祉国家の形成』木鐸社、2006（一部をコピーで配付します）
- *2) エスピン・アンデルセン『福祉資本主義の三つの世界』ミネルヴァ書房、2001（一部をコピーで配付します）